

# 会 議 録

## 1 会議名

上越市都市再生整備計画評価委員会

## 2 議題（公開）

（1）北陸新幹線上越妙高駅周辺地区（第二期）の事後評価について

報告 北陸新幹線上越妙高駅周辺地区（第二期）におけるまちづくりの経緯について

議事 事後評価手続き等及び今後のまちづくりにかかる審議について

## 3 開催日時

平成29年1月18日（水）午後1時30分～午後3時10分

## 4 開催場所

上越市役所4階 401会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：佐野可寸志、岩崎義一、山内孝信、渡部准次、井部辰男

・事務局：都市整備課：市川都市整備部長、高嶋副課長、近藤主任

新幹線・交通政策課：今井副課長

新幹線・交通政策課上越妙高駅周辺整備事務所：梅澤所長、小嶋副所長、

渡辺係長、石澤係長、舟波主任

道路課：池田副課長、尾地係長、大門主任

文化行政課：新保係長

委託業者：国際航業㈱

## 8 発言の内容

（1）開会

（2）委員紹介、委嘱状交付

市川都市整備部長から委員へ委嘱状を手交

### (3) 都市整備部長挨拶

本日は、ご多用の中、上越市都市再生整備計画評価委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、このたび、委員就任をお願いしましたところご快諾いただきありがとうございました。あらためてお礼申し上げます。

さて、本日の議題は、都市再生整備計画に基づきさまざまな事業を進めてまいりました北陸新幹線上越妙高駅周辺地区の第二期計画における事後評価について、ご審議いただきます。

当地区は、上越市の南部に位置する、北陸新幹線上越妙高駅を中心とした地区でございます。平成 27 年春の北陸新幹線開業により、広域交通の利便性が飛躍的に向上することが期待されることから、豊かな自然環境を生かしながら、良好な都市空間の形成を図っていくことが求められております。このことから、新幹線新駅の周辺において、広域交通の結節点としての機能の向上を図るため、駅周辺の道路網等整備を進め、上越地域の新たな玄関口にふさわしい、魅力あるまちづくりに向けた環境整備を進めております。

今年度、平成 19 年度から 23 年度に実施した第一期計画に引き続き平成 24 年度から 28 年度に実施してきた二期計画が最終年度となることから、事後評価を進めてまいりました。本日はこの事後評価が適切に遂行されたかどうか、今後のまちづくり方策が適切かどうかなどについてご審議いただく場でございます。

本日の審議をもとに、よりよいまちづくりを目指していききたいと存じますので、忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしく願いいたします。

最後になりますが、上越市のまちづくりに対し、皆様方からの一層のお力添えをお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

### (4) 委員長選出

委員の互選により、委員長に佐野委員を選出

(委員長あいさつ)

長岡技術科学大学の佐野でございます。せん越ながら、委員長を務めさせていただきます。皆さんからご活発なご意見をいただき、盛会となるよう期待しておりますのでよろしくお願いいたします。

### (5) 都市再生整備計画及び事後評価制度の概要について

高嶋副課長： それでは、議題に入ります前に、都市再生整備計画及び事後評価制度の概

要について、説明させていただきます。

<都市再生整備計画及び事後評価制度の概要について説明>

高嶋副課長： ただ今の説明につきまして、ご質問がありましたらお願いします。

<質問なし>

## (6) 議題

北陸新幹線上越妙高駅周辺地区（第二期）の事後評価について

佐野委員長： それでは、議題「北陸新幹線上越妙高駅周辺地区（第二期）の事後評価について」に入りたいと思います。まず始めに「北陸新幹線上越妙高駅周辺地区（第二期）におけるまちづくりの経緯について」、報告をお願いします。

石澤係長： <事後評価説明資料に基づき、北陸新幹線上越妙高駅周辺地区（第二期）におけるまちづくりの経緯について説明>

佐野委員長： ただ今のご説明について、ご質問等があればお願いいたします。

<質問なし>

佐野委員長： また後ほどでもご質問等があれば受け付けますので、続きまして「議事 事後評価手続き等及び今後のまちづくりにかかる審議について」説明をお願いします。

石澤係長： <事後評価手続き等及び今後のまちづくりについて説明>

佐野委員長： ただ今の説明について、ご意見、ご質問等がございましたらお願いしたいと思います。

佐野委員長： 23 ページに駅前広場等の満足度のアンケート調査結果があり、具体的な質問は記載されているとおりでありますが、どんなところに満足でどんなところが不満なのかという点は、聞かれていないのでしょうか。

石澤係長： 満足度に関して具体的な箇所についてはお聞きしておりません。

全体的に「駅前広場」という形での質問になっております。第一期のアンケート調査と比較したかったということもあり、同じような質問になっております。

佐野委員長： アンケートを配布した 200 通というのはどのエリアの人に配布したのでしょうか。

石澤係長： 200 通につきましては、今回の整備区域になっている 376 ヘクタールの区域の世帯の中から 200 世帯を抽出して配布しております。

佐野委員長： ありがとうございます。この辺に住んでいても鉄道の利用率はかなり低いので、利用しない人もかなりいると思います。フォローアップの時にもう一回アンケート調査をやるようですので利用者ベースで、駅で聞くとか、幅広くされるといいかなと思います。あと、フォローアップの際に同様のアンケートを実施して満足度が高くなるということを想定していると思いますが、今回のように満足度が低くなることもありますので具体的にどういうところが満足しているのか、というところもわかると良いかと思います。その辺を施策でフォローしていけばよいかと思います。

梅澤所長： 先ほど担当者も申し上げましたが、インフラ整備という観点で質問したという経緯もあり、具体的には「段差がない良い施設である」とか「上越らしい景観を配置している」とかそういう観点でアンケート調査をしました。一般の方々は道路や公園、下水道など立派なインフラ整備ができて実際に現地でどのように使われているのかという観点で見られたのではないかと私どもは判断しております。

新幹線が開業してもうすぐ2年が経ちますが、これからが土地利用のスタートということで市としても支援制度も考えており、少しでも民間企業の方々が進出しやすくなるような施策を検討していますし、既に実施しているものもあります。そういった観点も含めて今後のフォローアップに生かしていきたいと考えております。

渡部委員： 先ほど、事後評価原案の公表に関してホームページのアクセスが120回あったり事後評価シート原案のダウンロードが35件あったりした、という説明がありましたが、具体的なご意見はあったのでしょうか。

石澤係長： アクセス数、ダウンロード数に関してはその実績のとおりですが、それらをご覧になってご意見をいただいたものはありませんでした。

佐野委員長： 13ページの第二期計画の概要について、整備方針3から出ている事業は信越本線跡地利用検討調査ですが、この事業だけ指標には結びついていないので気になります。一期目の時には、同じ整備方針で「まちづくり協議会等の開催数」という指標に結びついているようですが、これはなぜでしょうか。

石澤係長： 整備方針3で「住民参加によるまちづくりの推進」を挙げておりますが、第一期計画の時には住民参加により計画策定を行っております。

第一期計画の実施段階で、地区計画に関する地権者代表者会及び検討会により地区計画の検討がなされており、上越市新幹線駅周辺商業地域土地利用促進協議会や上越新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議、上越市北陸新幹線建設促進まちづくり協議会といった多くの住民参加の組織があり、住民参加により地区計画やまちなみ形成構想などを策定しております。

これらの計画策定や協議会の開催などは従前から行ってきたものであり、これを踏まえて二期目の事業を実施していることから、今回は住民参加による事業は信越本線跡地利用検討調査の一事業となっておりますが、そこからその先の指標にはつながっていないという状況です。

これまで住民参加により計画策定を行っておりこれを踏まえて事業を実施していることから、このような形になっているということです。

佐野委員長： 必ずしも数値指標につながってなくてもいいと思うのですが、28 ページには「持続的なまちづくり体制の構築状況」に関する事項があつて、真ん中の「実施頻度・実施時期・実施結果」を書く欄にそれに関するコメントがないようですがこれでいいのでしょうか。

石澤係長： 上段のまちづくり協議会に関しては平成 27 年度末に解散しており、下段の土地利用促進協議会に関しては平成 24 年度から様々な活動をしております。こちらに関しては、パンフレットを作成して企業訪問等を行っておりますし、地権者の方々が出席する会議も開催しております。年 1 回総会のほか、随時事務局の会議を実施しています。こちらのまちづくり組織の開催状況としてはこのような形です。

佐野委員長： このままだと欠けているような気がするのですが、この様式に記載する必要はないのでしょうか。

石澤係長： この部分の整理の仕方について評価の手引きを参考にしながら、必要があれば記載の追加をさせていただきたいと思います。

山内委員： 先ほどのアンケート調査の 200 通について確認したいのですが、1,573 世帯あるうちの 200 の選び方はどうされたのかというのが一点です。

それと回収率が 41%ということですが、低いと見るのか中位と見るのかというあたりの評価があれば教えていただければと思います。

駅前広場整備について、指標 1 と指標 2 に関連しますが、これについては

地区内住民以外にも関係することだと思えますが、地区外の人からアンケートを取ったり声を聞いたりしているようなことがあれば教えていただきたいと思えます。

区域内の世帯数の目標値 1,400 世帯に対して評価値 1,573、従前値 1,350 に比べると二割くらい増えています。直感的に分譲マンションなどの建設が反映されているように感じています。地区別にいろんな字名がありますがどの辺が増えたのでしょうか。もし、分譲マンションや移転した新しい住宅が増えているようであれば、効果発現要因の整理では指標 3 の指標改善への貢献度で下水道や調整池が◎になっていますが、道路整備も○ではなく◎でもいいのではないかと思います。

石澤係長 : まずアンケートの配布数ですが、対象エリアの世帯数が 1,573 世帯に対して 200 通という設定に関しては第一期計画の調査状況を踏まえて、同様に 200 世帯と抽出しました。この数が多いか少ないかと言われれば少ないようにも感じています。

回収率については 41%ということで、私どもの方でもいろいろなアンケート調査をしておりますが、回収率は概ねこのようなものかという認識です。今回については郵送による配布、郵送による回収という形です。実際に、町内会を通じて配布するという形であれば回収率は若干上がったかもしれませんが、今回、町内会に依頼するにしても無作為抽出ですので町内会にお願いするという形はとれず、このような結果となりました。

それから、地区外の声ということですが、今回のアンケートは地区内住民を対象にしており、地区外の方の声は直接聞いてはおりません。どのような形で地区外の方の声を聞くことができるか、という点についてはまた検討しなければなりません。今回の評価にあたっては聞いていない状況です。

梅澤所長 : 世帯数が増えている大字についてですが、世帯数計測区域の中心部のエリアで 28.5 ヘクタールの土地区画整理事業を行っており、新幹線のラインより右側が大和 2 丁目になります。一方、左側が大和 5 丁目・6 丁目です。この二つの大字が当然のことながらかなり世帯数が増えています。やはり委員のおっしゃるとおり、西側の大和 5・6 丁目にはマンションが一棟建っており 55 世帯が入るということですが、昨年秋に全て埋まったという話も聞いてい

ますので、そこで55世帯が増えているという状況です。また周辺でも一つの集合住宅が建設されれば4世帯とか5世帯とか増えるわけです。あと新幹線の駅周辺だけではなくて、道路整備をやっております都市計画道路東城町脇野田線の周辺でも、都市計画道路の周りに民間開発が入り住宅も増えているという状況があり、一部大和4丁目もあります。2丁目もかかっているので世帯数が増えているということです。

石澤係長 : 今ほどの、町内会ごとにどれくらい増えているのかという件について、具体的な数字をピックアップして説明させていただきますが、大和2丁目が従前値で208世帯だったのが295世帯に増えています。大和5・6丁目も224世帯だったものが315世帯とかなり増えております。こちらの2丁目とか5・6丁目というのが駅周辺の場所になりますし、マンションというのも世帯数増の大きな要因であると思っております。

それから評価シートの貢献度の部分で、区域の戸数増加は道路整備も要因になっているのではないかとのご指摘です。道路事業として挙げている路線が6路線ございますが、こちらは生活道路というよりも、広域の駅へのアクセス道路となっております。こういうことから、間接的な貢献であると判断したものです。直接、区画道路とか、生活道路的なものであれば◎でもいいかなという判断の中で、少し広域的な道路であるということで○にしたものです。

梅澤所長 : 今ほどの回答の補足ですが、道路整備の中でも市街化調整区域で道路整備を行っている場所もあります。市街化区域内であれば世帯数の増加に影響してくることもあるかと思いますが、住宅を建てられない制限がある区域もありますので、◎ではなく○にしたという判断です。

渡部委員 : 貢献度について、それぞれ意味があって○と判断したと思うのですが、例えば高質空間形成施設の自由通路や駅前広場シェルターなどは、指標改善への貢献度は○になっています。私が率直に見て、駐車場は民間の駐車場もかなりできていますし、シェルターについても景観上、私としてはいいかなと思っておりますが、どういう理由で○になっているのかその辺をお聞かせいただきたいと思っております。

石澤係長 : 駅へのアクセス性ということで、これらの事業がどのように指標に関連し

ているかというところから判断しておりますが、まず駅へのアクセスという点では道路はまず◎であろうと判断しております。それから駅へのアクセス性という表現があいまいだったのかもしれませんが、主に駅までの道路を対象に指標として設定していたところから、道路事業はまず◎になっております。今ほどご指摘のあった自由通路や駅前広場のシェルター、それから駐車場については、駅へアクセスした後に駅を利用する際の乗り継ぎの利便性だとかそういう部分に係ってくると考えており、アクセスという部分では貢献度は低いと判断し○としております。

井部委員 : 指標とは離れますが、「上越妙高駅を降りると何も無い」という声をよく聞かれます。そういう面では、計画に書かれた魅力ある駅周辺の整備とか、上越らしさを活かしたまちなみ景観の形成とかこういうところについて、評価という部分では出てきませんが、そういう視点でも今後のまちづくりに反映していただきたいと思いますがいかがでしょうか。

石澤係長 : 今ほどのご指摘ですが、私どもも「上越妙高駅を降りても何も無い」といったご意見をいただくこともあります。そういう部分を、残された課題として整理しております。説明資料の31ページですが、魅力的なまちづくりをしていかなければならないということを事業計画にも謳っておりますが、まだそういう部分が未達成になっているということから、今後、このような部分を市としても進めていかなければならないだろうと考えております。

ただ、上越妙高駅周辺につきましては、土地利用促進協議会という地権者組織もありますので、そちらを支援するような形で取組を進めていきたいと思っております。皆様のお手元にパンフレットをお渡ししておりますが、一つは土地利用促進協議会が作成しているパンフレットの見開きに土地利用状況図がございます。土地利用の状況を着色しておりますが、オレンジ色の部分については土地利用検討中ということで各地権者が事業の検討を進めているという状況です。A、B、C・・・と街区が表示されていますが、Bの部分では、皆さんもご存じのとおり温泉の掘削が始まってきております。少しずつまちづくりが進んできているのかと考えておりますし、またそういうところを支援しながら企業の進出を促していきたいということから、もう一枚パンフレットを配付させていただいております。

こちらは市の方で上越妙高駅周辺地区商業地域の企業進出等を促すために支援制度を設けており、一つは建築資金借入利子前払事業補助金、それからレンタルオフィス・サポート事業補助金、それから進出企業奨励金の三つの補助金を設けているという状況です。課題として、今ほどのご意見については整理をして支援をしていきたいと考えております。

佐野委員長： 議事として、事後評価手続きの妥当性と今後のまちづくりにかかる審議ということですが、今後のまちづくりにかかる部分は資料ではどの部分になりますでしょうか。

石澤係長： 今後のまちづくり方策という部分が、説明資料の31ページから33ページになります。この部分で、当初事業を実施する時に、4つの課題に対して達成されたことと残された未解決の課題ということで整理をさせていただきました。今ほどご指摘いただいた部分は、この残された課題という部分で整理して、今後取り組んでいかなければならないだろうと整理しております。次の32ページが、今後こういうようにしていく方策として取りまとめております。最後に追加させていただいた33ページは、指標が未達成だったということで、指標1のフォローアップを33年度に実施するという内容になっております。

佐野委員長： 上越妙高駅の新幹線と在来線の1日の乗降客はどれくらいあるのでしょうか。乗り換えで利用している人がどのくらいいるのか、興味があります。

石澤係長： 協議会が作成したパンフレットの中面に、上越妙高駅における乗降客数が掲載されております。27年4月11日から12日の観桜会のピーク時における駅の乗降客数が6,600人あったとあります。そして27年度の5月18日から24日のイベント等のない通常の時期中で3,800人の利用があるという状況です。お盆の時は8,300、これは帰省客だと思いますが、非常に利用が増えるということで多客時ということで分類しております。謙信公祭のイベント時で6,300、シルバーウィークでは6,700、SAKEまつりでは5,500、秋の通常時にも調査しておりますが4,100という状況です。

佐野委員長： 新幹線から在来線の乗り継ぎの数はわかりますか。

梅澤所長： 概ねですが、新幹線の乗降客の約半数近くが在来線を利用されているという状況です。新幹線の乗降の状況はシーズンによっても違うと思いますが、新潟方面へ行く特急しらゆきや通常の在来線に乗り継ぎされていると聞いて

います。実際の数値は新幹線の乗降客のようにはっきりと把握はしておりませんが、大体そのような状況です。

佐野委員長： 乗り換えで新潟とか長岡から来る人は多いと思うのですが、いかに通過ではない人を増やすか、ということが重要かと思います。他に何かございますでしょうか。それでは一通りご意見も出たようなので、事後評価の手続きの妥当性及び今後のまちづくりについて確認します。事後評価の手続きが適切に進められ、今後のまちづくりについて適切に検討されていると評価してよろしいでしょうか。

全委員： 異議なし。

佐野委員長： それでは、事後評価の手続き及び今後のまちづくりについて適切であると確認いたしました。

事務局においては、本日の評価委員会での意見を踏まえたうえで、今後の事後評価手続きに遺漏のないようお願いします。

以上で本日の議事は終了いたしましたので、議長の職を解かせていただきます。

#### (7) 評価委員会後のスケジュール

高嶋副課長： ありがとうございます。それでは、この委員会後のスケジュールについてご説明いたします。

本日ご審議いただき、ご意見をいただきましたことを踏まえて、事後評価シートを修正し、国に提出させていただきます。

その後、国との協議を経て3月末には、事後評価シートの確定版を委員の皆様へ送付するとともに、広報、ホームページ等を通じて広く市民の皆さんに公表したいと考えております。

この件についてご質問等ありましたらお願いします。

<質問なし>

高嶋副課長： それでは、以上をもちまして、上越市都市再生整備計画評価委員会を終了いたします。本日は、長時間にわたるご審議大変ありがとうございました。

#### (8) 閉会

#### 9 問合せ先

○会の運営に関すること

都市整備部都市整備課監理係

TEL : 025-526-5111 (内線 1784)

E-mail : toshiseibi@city.joetsu.lg.jp

○議案内容に関すること

企画政策部新幹線・交通政策課上越妙高駅周辺整備事務所

TEL : 025-527-2870

E-mail : sinkansen@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。